投資者の皆さまへ

Monthly Fund Report

【ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ】
ダイワファンドラップ 外国株式セレクト

追加型投信／海外／株式

信託期間 ： 2007年11月1日 から 無期限　　基 準 日 ： 2026年9月30日

決算日 ： 毎年6月15日（休業日の場合翌営業日）　　回次コード ： 3782

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

≪基準価額・純資産の推移≫

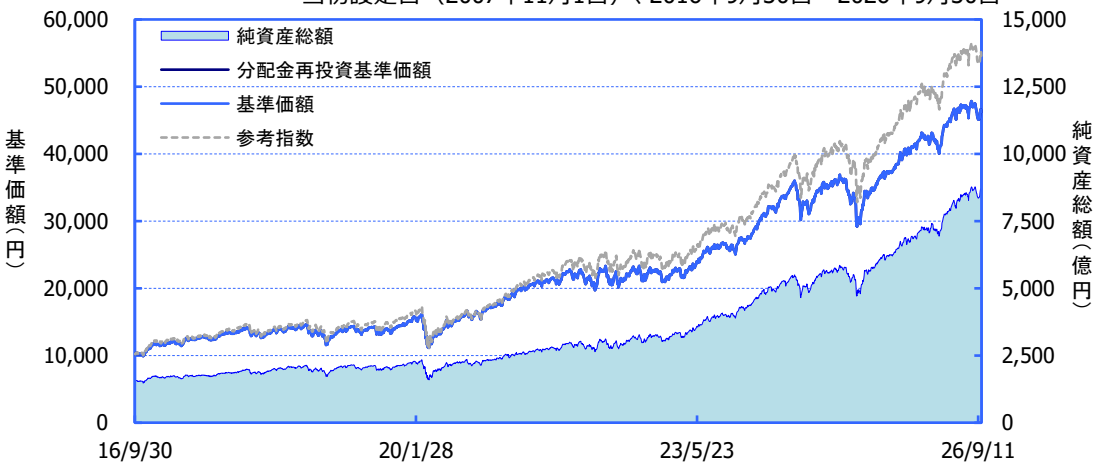
2026年9月30日現在

基準価額	46,239 円
純資産総額	8,643億円

期間別騰落率

期間	ファンド	参考指数
1カ月間	-2.7 %	-2.7 %
3カ月間	-0.3 %	+1.2 %
6カ月間	+15.5 %	+16.8 %
1年間	+20.1 %	+22.4 %
3年間	+78.3 %	+90.4 %
5年間	+121.1 %	+148.5 %
10年間	+353.3 %	+435.5 %
設定来	+362.4 %	+503.0 %

当初設定日（2007年11月1日）、2016年9月30日～2026年9月30日



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。
※参考指数はMSCIコクサイ指数（税引後配当込み、円ベース）です。運用成績と比較するベンチマークではありません。
※グラフ上の参考指数はグラフの起点時の分配金再投資基準価額に基づき指数化しています。
※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

≪分配の推移≫

（1万口当たり、税引前）

決算期 （年/月）	分配金
第1～7期 合計：	0円
第8期 (15/06)	0円
第9期 (16/06)	0円
第10期 (17/06)	0円
第11期 (18/06)	0円
第12期 (19/06)	0円
第13期 (20/06)	0円
第14期 (21/06)	0円
第15期 (22/06)	0円
第16期 (23/06)	0円
第17期 (24/06)	0円
第18期 (25/06)	0円
第19期 (26/06)	0円
分配金合計額 設定来：	0円

※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

≪主要な資産の状況≫

※比率は、純資産総額に対するものです。

組入ファンド　※運用会社名およびファンド名の正式名称は、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

比率	運用会社名	ファンド名	騰落率 1カ月間	3カ月間	6カ月間
15.8%	フランクリン・テンプルトン・ジャパン	フランクリン・グローバル株式ファンド	−2.4%	+3.1%	+18.4%
15.5%	大和アセットマネジメント	ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略	−3.1%	+1.5%	+17.5%
10.8%	アムンディ・ジャパン	アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド	−3.1%	−1.9%	+11.6%
9.9%	キャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー	ｷｬﾋﾟﾀﾙ・ｸﾞﾙｰﾌﾟ・ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ・ﾆｭｰﾊﾟｰｽﾍﾟｸﾃｨﾌﾞ・ﾌｧﾝﾄﾞ(LUX)ｸﾗｽP(円建)	−2.4%	−2.1%	+14.9%
7.9%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド	−1.5%	+1.8%	+22.9%
7.8%	Global X Japan	グローバルX S&P500 キャッシュフロー・トップ100 ETF	−2.0%	+2.0%	+20.4%
6.1%	大和アセットマネジメント	ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リサーチ・グロース株式ファンド（除く日本）	----	----	----
5.8%	ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド クラスⅠ（円建）	−1.9%	−1.9%	+24.4%
5.7%	大和アセットマネジメント	MFS外国株式コントラリアン厳選バリュー戦略	−5.5%	−1.3%	+12.1%
3.0%	大和アセットマネジメント	ダイワ／GQGグローバル・エクイティ	−1.3%	−2.1%	−1.1%
2.9%	大和アセットマネジメント	ジェニソン外国株式戦略ファンド	−2.0%	−8.8%	+15.0%
2.8%	朝日ライフ アセットマネジメント	WCM 先進国成長株厳選ファンド	−4.5%	−5.4%	+13.8%
1.9%	大和アセットマネジメント	米国大型クオンツ戦略	−3.2%	+0.8%	+22.7%
1.0%	ニッセイアセットマネジメント	ニッセイ／アリアンツ・欧州グロース株式ファンド	−6.2%	−5.2%	+7.2%
1.0%	大和アセットマネジメント	ダイワ／ウエリントン欧州株ファンド	−3.7%	+1.8%	+12.7%
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---
---	---	---	---	---	---

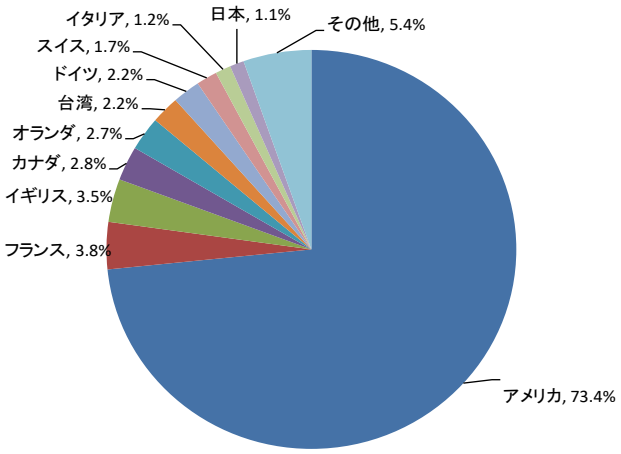
■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって投資元本が保証されているものではありません。当ファンドの取得をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上ご自身でご判断ください。後述の当資料のお取り扱いにおけるご注意をよくお読みください。

設定・運用：大和アセットマネジメント Daiwa Asset Management

商号等　大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第352号

加入協会　一般社団法人資産運用業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

国・地域別配分比率（2026年8月末）



※比率は株式ポートフォリオに対するものです。
※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。

（出所）大和ファンド・コンサルティング

≪ファンドマネージャーのコメント≫

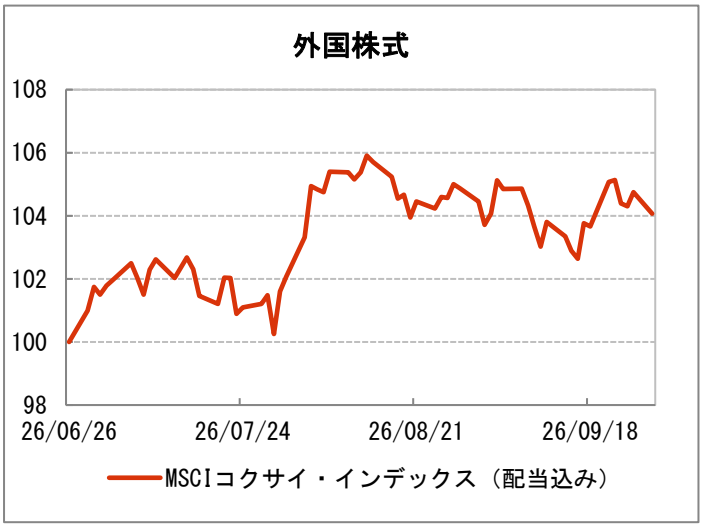
※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

【市況概況】

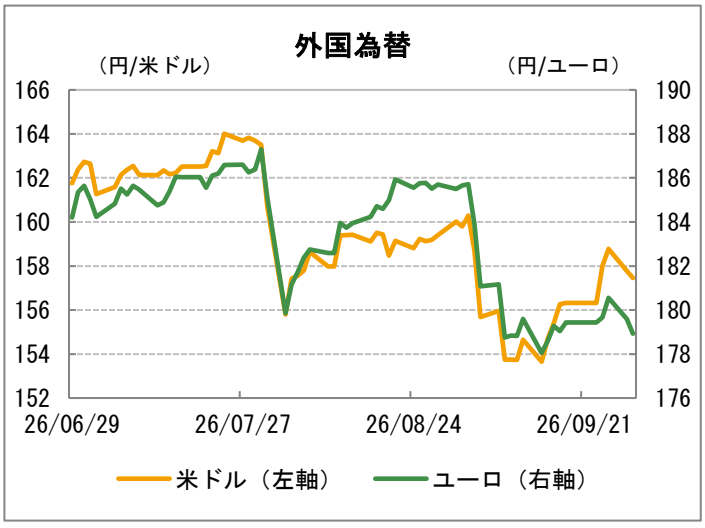
9月のMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、現地通貨建）は0.9%の下落となりました（円建では2.7%下落）（注）。

海外株式市場では、欧米株は下落しました。中東情勢緊迫化を背景とした原油高と金利上昇でリスク回避姿勢が強まり、月を通して相場の重石となりました。そうしたなか、米国株は月半ば以降、米メタのAI（人工知能）エージェント「Muse」の発表などを受けてAI関連への期待が高まり、AI・半導体関連株を中心に買いが入りました。一方欧州株は、景気敏感株の下落が響き月末にかけて軟調に推移しました。
9月の外国為替市場は、対円で米ドル、ユーロはともに下落（円高）しました。
為替市場では、米ドルは、月上旬に日銀の利上げ前倒し観測などから対円で下落しましたが、中旬以降は円高が一服し、米国の追加利上げ観測などを背景に強含みました。ユーロは、ECB（欧州中央銀行）の利上げが下支えとなった一方、日本の為替介入への思惑やフランスの政治・財政への警戒感などから、対円で下落しました。

(2026年6月26日～2026年9月28日)



(2026年6月29日～2026年9月29日)



※グラフの起点時を100として指数化

（出所）ブルームバーグより大和アセットマネジメント作成

【当月の運用方針】

当月は以下の方針で運用を行いました。

米国株式は、底堅い消費と設備投資の本格化による堅調な推移を想定しています。同様に、欧州株式も堅調な推移を想定しています。ただし、引き続き中東情勢がリスク要因と考えています。リスクのバランスに留意し安定的な運用を行う方針です。
指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率良く活かしたファンド配分をめざします。

【ファンド配分】

「フランクリン・グローバル株式ファンド」、「ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略」、「グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド」、「ダイワ／GQGグローバル・エクイティ」、「ジェニソン外国株式戦略ファンド」、「ＷＣＭ 先進国成長株厳選ファンド」、「グローバルＸ S&P500 キャッシュフロー・トップ 100 ETF」の比率を引き下げ、「ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド」、「MFS外国株式コントラリアン厳選バリュー戦略」の比率を引き上げました。また、「グローバル厳選株式ファンド」を除外し、「ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リサーチ・グロース株式ファンド」を新規に組み入れました。

【運用コメント】

当月の基準価額騰落率は-2.7%となりました。

純資産総額に対して約15%組み入れている「ダイワ／ニューメリック 外国株式戦略」、約16%組み入れている「フランクリン・グローバル株式ファンド」、約11%組み入れている「アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド」などがマイナス寄与しました。

指定投資信託証券の組み入れは、高位に維持しました。

【今後の運用方針】

米国株式は、底堅い消費と設備投資の本格化によって堅調な推移を想定しています。同様に、欧州株式も堅調な推移を想定しています。ただし、原油市況などによるインフレ懸念と金利上昇がリスク要因と考えています。リスクのバランスに留意し安定的な運用を行う方針です。
指定投資信託証券の組入比率は、高位に維持します。
運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、それぞれの運用者の能力を効率良く活かしたファンド配分をめざします。

（注）MSCIコクサイ・インデックスの騰落率は、税引前配当込み、現地通貨建の指数を使い、大和ファンド・コンサルティングが独自に計算しています。外国株式については、前月の最終営業日の前々営業日から、当月の最終営業日の前々営業日までの期間について計測しています。

本ファンドは、MSCI Inc.（「MSCI」）によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。〔 https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html 〕

≪大和ファンド・コンサルティングによるファンドの評価一覧≫　（出所）大和ファンド・コンサルティング

投資信託証券 運用会社名	大和ファンド・コンサルティングによるファンド評価
ニッセイ／アリアンツ・欧州グロース株式ファンド ニッセイアセットマネジメント株式会社	■ 企業の利益成長性を中長期的な視点で調査分析し、投資することでマーケットサイクル全体を通じて安定的に収益を獲得している。 ■ 企業のファンダメンタルズや、株価上昇余地を踏まえた適切なポートフォリオ運営がなされている。
フランクリン・グローバル株式ファンド フランクリン・テンプルトン・ジャパン株式会社	■ 独自のモデルで投資機会を複眼的に分析し、分散の効いたポートフォリオを構築している。きめ細かい分析に基づきモデルの改善を積み重ねている。
ダイワ／ウエリントン欧州株ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■3つのLow基準（低評価、低期待、低株価）と企業の財務力分析を組み合わせた明確な銘柄選定基準を用いて、市況が混乱する中でも的確な銘柄選択を行っている。
ダイワ／GQGグローバル・エクイティ 大和アセットマネジメント株式会社	■ 持続的な利益成長が見込める中長期クオリティグロース銘柄に投資し、環境変化に機動的な銘柄入れ替えで対応することで安定的な超過収益の獲得が期待される。
ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド ニッセイアセットマネジメント株式会社	■ 割安株投資に関する長年の運用経験を活かした銘柄選択を行っており、安定したリターンの獲得が期待できる。
アムンディ・米国大型株コア戦略ファンド アムンディ・ジャパン株式会社	■ セクターやファクター等特定のリスクは抑制しながら、複数シナリオで株価を予測し確信度が高い銘柄を適切に見極めた投資判断を行い、安定的な超過収益の獲得につながっている。
ダイワ／ニューメリック外国株式戦略 大和アセットマネジメント株式会社	■ クオンツ手法での個別銘柄選択を収益源とする。充実したリサーチ体制と取引執行体制により安定的なパフォーマンスが期待される。
ジェニソン外国株式戦略ファンド 大和アセットマネジメント株式会社	■ 独自の事業モデルを有する企業の成長性に着目し、成長テーマや個別銘柄間の相関にも十分に配慮した運用を行い、長期的に高い収益獲得が期待できる。
MFS外国株式コントラリアン厳選バリュー戦略 大和アセットマネジメント株式会社	■ 株価が企業価値よりも低いタイミングを捉えて投資する。財務内容に問題のない優良銘柄に投資している。
WCM　先進国成長株厳選ファンド 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社	■ 参入障壁が持続可能で強化傾向にあり、かつ優れた企業文化の銘柄に投資する。
米国大型クオンツ戦略 大和アセットマネジメント株式会社	■ 独自のファクターモデルを用いた米国大型株式のクオンツ戦略で、安定的なリターンが期待できる。
ジャナス・ヘンダーソン・グローバル・リサーチ・グロース株式ファンド（除く日本） 大和アセットマネジメント株式会社	■ アナリストが選別した銘柄により、リスク管理に配慮したポートフォリオを構築しており、安定的な超過収益の獲得が期待される。
グローバル・フォーカス・グロース・エクイティ・ファンド ティー・ロウ・プライス・インターナショナル・リミテッド	■ グローバルの広範なリサーチ体制がもたらす情報をもとに、個別銘柄の成長性とバリュエーションの妥当性を的確に判断している。
キャピタル・グループ・グローバル・ニューパースペクティブ・ファンド キャピタル・リサーチ・アンド・マネジメント・カンパニー	■ 複数のポートフォリオ・マネジャーの運用スタイルの分散や銘柄選択に加え、アナリストの調査体制の厚みや分散されたアイデアから成るリサーチ・ポートフォリオにより、安定的な収益獲得が期待できる。
グローバルX S&P500 キャッシュフロー・トップ100 ETF Global X Japan株式会社	■ フリーキャッシュフローに着目した銘柄選択を行っている。

※投資信託証券および運用会社名の正式名称は、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。
ダイワファンドラップ日本株式セレクト：FW日本株式セレクト
ダイワファンドラップ外国株式セレクト：FW外国株式セレクト
ダイワファンドラップ外国株式セレクト エマージングプラス：FW外国株式EM+
ダイワファンドラップ日本債券セレクト：FW日本債券セレクト
ダイワファンドラップ外国債券セレクト：FW外国債券セレクト
ダイワファンドラップ外国債券セレクト エマージングプラス：FW外国債券EM+
ダイワファンドラップＪ－ＲＥＩＴ セレクト：FW J-REITセレクト
ダイワファンドラップ外国ＲＥＩＴ セレクト：FW外国REITセレクト
ダイワファンドラップコモディティセレクト：FWコモディティセレクト
ダイワファンドラップヘッジファンドセレクト：FWヘッジFセレクト

≪ファンドの目的・特色≫

ファンドの目的

・海外の株式に投資し、信託財産の成長をめざします。

ファンドの特色

・「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」は、投資者と販売会社が締結する投資一任契約に基づいて、資産を管理する口座の資金を運用するためのファンドです。
「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」の購入の申込みを行なう投資者は、販売会社と投資一任契約の資産を管理する口座に関する契約および投資一任契約を締結する必要があります。

・「ダイワファンドラップ セレクト・シリーズ」を構成する各ファンドは、投資対象が異なり、投資信託証券への投資を通じて実質的な運用を行ないます。

・指定投資信託証券の選定、組入比率の決定は、株式会社 大和ファンド・コンサルティングの助言を受け、これを行ないます。

・毎年６月 15 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

≪投資リスク≫

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

株価 （価格変動リスク・信用リスク） 新興国	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク 新興国	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク 新興国	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

●当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の６の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

●当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

≪ファンドの費用≫

投資者が直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社はありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

		料率等	費用の内容
FW日本株式セレクト			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.484% （税抜0.44%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
	配分（税抜）（注1）委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	配分（税抜）（注1）販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	配分（税抜）（注1）受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
	投資対象とする投資信託証券（目論見書作成時点）	年率0.2541%（税抜0.231%）～年率0.825%（税抜0.75%）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
	実質的に負担する運用管理費用の概算値（目論見書作成時点）	年率1.0214%（0.7381%～1.3090%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th>料率等</th><th>費用の内容</th></tr>
<tr><td colspan="5">FW外国株式セレクト</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">運用管理費用
（信託報酬）</td><td rowspan="4">年率0.484%
（税抜0.44%）</td><td colspan="2">運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">配分
（税抜）
（注1）</td><td>委託会社</td><td>年率0.30%</td><td>ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.10%</td><td>運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.04%</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">投資対象とする投資信託証券
（目論見書作成時点）</td><td colspan="2">投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">年率0.198%（税抜0.18%）～年率1.0131%（税抜0.921%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用の概算値
（目論見書作成時点）</td><td colspan="2">年率1.1762%（0.6820%～1.4971%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）</td></tr>
<tr><td colspan="5">FW外国株式EM+</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="4">運用管理費用
（信託報酬）</td><td rowspan="4">年率0.484%
（税抜0.44%）</td><td colspan="2">運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">配分
（税抜）
（注1）</td><td>委託会社</td><td>年率0.30%</td><td>ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.10%</td><td>運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.04%</td><td>運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">投資対象とする投資信託証券
（目論見書作成時点）</td><td colspan="2">投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">年率0.198%（税抜0.18%）～年率1.25%
ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用の概算値
（目論見書作成時点）</td><td colspan="2">年率1.2718%（0.6820%～1.7340%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）</td></tr>
<tr><td colspan="5">FW日本債券セレクト</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">運用管理費用
（信託報酬）</td><td>年率0.484%
（税抜0.44%）以内</td><td colspan="2">運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。</td></tr>
<tr><td colspan="3">運用管理費用（年率）は、下表〈A〉時点の新発10年固定利付国債利回りに応じて、下表〈B〉の期間において、純資産総額に対して以下の率とします。
新発10年固定利付国債利回りが
イ. 2%未満の場合 …… 年率0.242%（税抜0.22%）
ロ. 2%以上の場合 …… 年率0.484%（税抜0.44%）
<table><tr><th></th><th>〈A〉</th><th>〈B〉</th></tr><tr><td>①</td><td>前計算期末</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）まで</td></tr><tr><td>②</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）</td><td>毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）の翌日から毎計算期間末まで</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2">委託会社</td><td rowspan="3">配分については、
下記参照</td><td colspan="2">ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">販売会社</td><td colspan="2">運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">受託会社</td><td colspan="2">運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。</td></tr>
<tr><td colspan="4"><table><tr><th>〈運用管理費用の配分〉
（税抜）（注1）</th><th>委託会社</th><th>販売会社</th><th>受託会社</th></tr><tr><td>前イ. の場合</td><td>年率0.15%</td><td>年率0.05%</td><td>年率0.02%</td></tr><tr><td>前ロ. の場合</td><td>年率0.30%</td><td>年率0.10%</td><td>年率0.04%</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">投資対象とする投資信託証券
（目論見書作成時点）</td><td colspan="2">投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">年率0.1936%（税抜0.176%）～年率0.473%（税抜0.43%）
※投資対象ファンドにおける運用管理費用の上限を示しております。国債利回り水準等により変動する投資対象ファンドの運用管理費用は、これを下回ることがあります。</td></tr>
<tr><td colspan="2">実質的に負担する運用管理費用の概算値
（目論見書作成時点）</td><td colspan="2">新発10年固定利付国債利回りが
1%未満の場合 年率0.4649%（0.3806%～0.7150%）程度（税込）
1%以上2%未満の場合 年率0.5067%（0.4356%～0.7150%）程度（税込）
2%以上3%未満の場合 年率0.7624%（0.6776%～0.9570%）程度（税込）
3%以上4%未満の場合 年率0.7760%（0.6776%～0.9570%）程度（税込）

（実際の組入状況等により変動します。）</td></tr>
</table>

		料率等	費用の内容
FW外国債券セレクト			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.484%（税抜0.44%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分（税抜）（注1）	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする投資信託証券（目論見書作成時点）		年率0.2981%（税抜0.271%）～年率0.60%+上限0.15%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用の概算値（目論見書作成時点）		年率0.9651%（0.7821%～1.2340%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	
FW外国債券EM+			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.484%（税抜0.44%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分（税抜）（注1）	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする投資信託証券（目論見書作成時点）		年率0.2981%（税抜0.271%）～年率0.60%+上限0.15%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用の概算値（目論見書作成時点）		年率0.9938%（0.7821%～1.2340%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	
FW J-REITセレクト			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.374%（税抜0.34%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分（税抜）（注1）	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする投資信託証券（目論見書作成時点）		年率0.33%（税抜0.30%）～年率0.517%（税抜0.47%）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用の概算値（目論見書作成時点）		年率0.7508%（0.7040%～0.8910%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	
FW外国REITセレクト			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.374%（税抜0.34%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分（税抜）（注1）	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする投資信託証券（目論見書作成時点）		年率0.605%（税抜0.55%）～年率0.7931%（税抜0.721%）	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用の概算値（目論見書作成時点）		年率1.0204%（0.9790%～1.1671%）程度（税込）（実際の組入状況等により変動します。）	

		料率等	費用の内容
FWコモディティセレクト			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.374% (税抜0.34%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.245%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.075%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.02%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする投資信託証券(目論見書作成時点)		年率0.242%(税抜0.22%)～年率1.00%	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用の概算値(目論見書作成時点)		年率1.2037%(0.6160%～1.3740%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
FWヘッジFセレクト			
運用管理費用（信託報酬）		年率0.484% (税抜0.44%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
配分(税抜)(注1)	委託会社	年率0.30%	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価です。
	販売会社	年率0.10%	運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価です。
	受託会社	年率0.04%	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価です。
投資対象とする投資信託証券(目論見書作成時点)		年率0.561%(税抜0.51%)～年率上限2.00% ただし、実績報酬制をとる投資対象ファンドの運用成果によっては、これを上回ることがあります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用の概算値(目論見書作成時点)		年率1.6678%(1.0450%～2.4840%)程度(税込)(実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・手数料		(注2)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注1)「運用管理費用の配分」には、別途消費税率を乗じた額がかかります。
(注2)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場不動産投資信託は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

≪お申込みメモ≫

購入単位	最低単位を１円単位または１口単位として販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額（１万口当たり）
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払い下さい。
換金単位	最低単位を１口単位として販売会社が定める単位
換金価額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額（１万口当たり）
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して６営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	ニューヨークの銀行またはロンドンの銀行の休業日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせ下さい。
申込締切時間	原則として、午後３時 30 分まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの） なお、販売会社によっては異なる場合がありますので、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金の申込みの受付けを中止することがあります。
繰上償還	次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了させること（繰上償還）ができます。 ・受益権の口数が 30 億口を下ることとなった場合 ・信託契約を解約することが受益者のため有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
収益分配	年１回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。なお、お取扱い可能なコースについては異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせ下さい。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に NISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISA の対象ではありません。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。

≪当資料のお取り扱いにおけるご注意≫

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメントにより作成されたものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- 同じ銘柄名が複数表示される場合、同一銘柄名であっても市場や通貨等が異なる場合があります。また、銘柄名称が長い場合、名称の一部が表記されない場合があります。
- 分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ

▸ 大和アセットマネジメント　フリーダイヤル　0120-106212（営業日の 9:00～17:00）

当社ホームページ

▸ https://www.daiwa-am.co.jp/

取扱い販売会社

2026年9月30日　現在

ダイワファンドラップ 外国株式セレクト

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。